

2023 年度夏季の電力需給の見通しと節電のお願いについて

2023 年 6 月 16 日
電気事業連合会
送配電網協議会

今年度夏季の厳しい電力需給の見通しを踏まえ、本年 6 月 9 日、政府の「電力需給に関する検討会合」において、電力需給対策がとりまとめられました。

今年度夏季の電力需給については、西日本エリアを中心に 10%程度の予備率を確保している一方で、東京エリアにおいては厳しい見通しが示され、kW 公募等を実施したものの、依然として 7 月の予備率が安定供給に最低限必要な予備率 3.0%をкаろうじて上回る厳しい見通しとなっています。

さらに、想定以上の気温上昇による需要の増加や、電力設備の計画外停止による供給力の減少、さらにはウクライナ情勢の影響等による燃料供給途絶等のリスクを考慮する必要があると考えています。

そのため、事業者として適切な設備保全や燃料確保などの供給面の対策に万全を期すとともに、産業界や自治体と連携した節電対策やディマンド・レスポンスの普及拡大を図るなど、需要面の対策にも最大限取り組んでまいります。

東京エリアにお住まいの皆さまには、今年度夏季も無理のない範囲での節電へのご協力をお願いいたします。その他のエリアの皆さまにおかれましても、引き続きエネルギーの効率的なご使用に取り組んでいただきますようお願いいたします。

2023 年度夏季の電力需給見通し※ (単位：%)

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	
7 月	5.2		3.1	9.8				11.2	9.8	22.3	
8 月	7.6		4.8	11.7	11.9				14.4	11.9	18.7
9 月	15.8		5.3	7.8	11.3				18.5	21.6	

※ 10 年に一度の猛暑を想定した需要に対する予備率
(2023 年 6 月 9 日 電力需給に関する検討会合資料より作成)

以上